

山形県内の主要事業

治水

1

直轄

飯豊山系(砂防)
杉立沢土砂流出対策



凡例

治水事業

飯豊山系直轄砂防事業の推進
山形県西置賜郡小国町（杉立沢土砂流出対策）

R7補正事業費
131百万円

事業の概要

飯豊山系の荒川流域は、荒廃が著しい渓流や崩壊した斜面が多数存在し、河床には不安定な土砂や流木が大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

この中でも杉立沢流域では、大規模な土砂崩壊に伴う河道閉塞が発生するなど河道内に不安定土砂が大量に堆積しており、これが今後の出水等で流下し国道113号やJR米坂線といった地域の重要交通網の被災が懸念されます。

杉立沢土砂流出対策では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、国土強靱化実施中期計画により砂防堰堤の整備を実施します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、飯豊山系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である山形県西置賜郡小国町をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度補正予算の事業内容

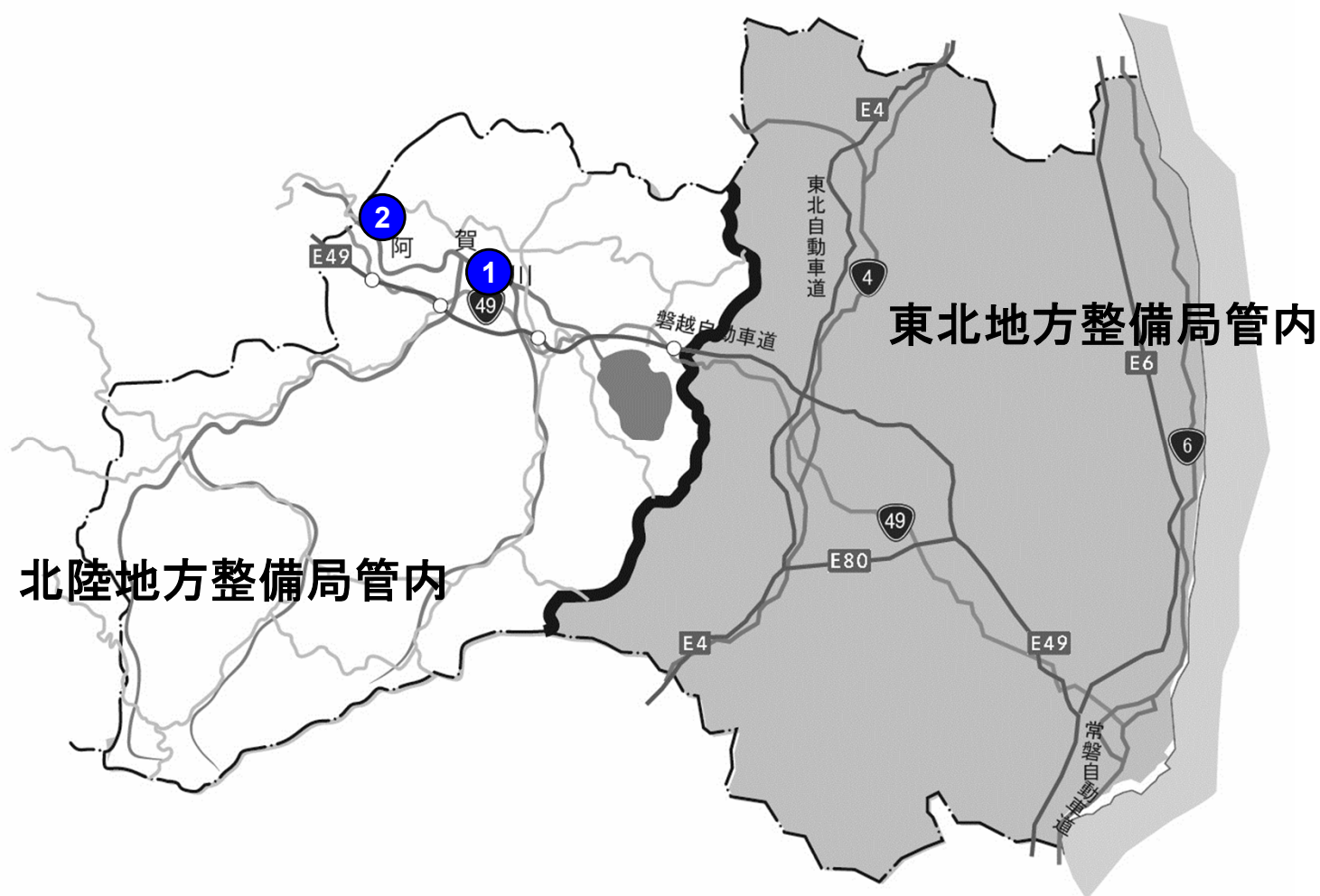
補正予算の充当により、沼沢地区において砂防堰堤工の整備を推進します。



福島県内の主要事業

治水

1	直轄	阿賀川 長井地区下流狭窄部対策事業
2	直轄	滝坂地区直轄地すべり対策事業



凡例	治水事業
----	------

あ が が わ
阿賀川

ながい
長井地区下流狭窄部対策事業
ふくしま きたかた
福島県喜多方市

の推進

R7補正事業費

171百万円※1

※1:阿賀川河川改修事業のR7補正全体事業費

事業の概要

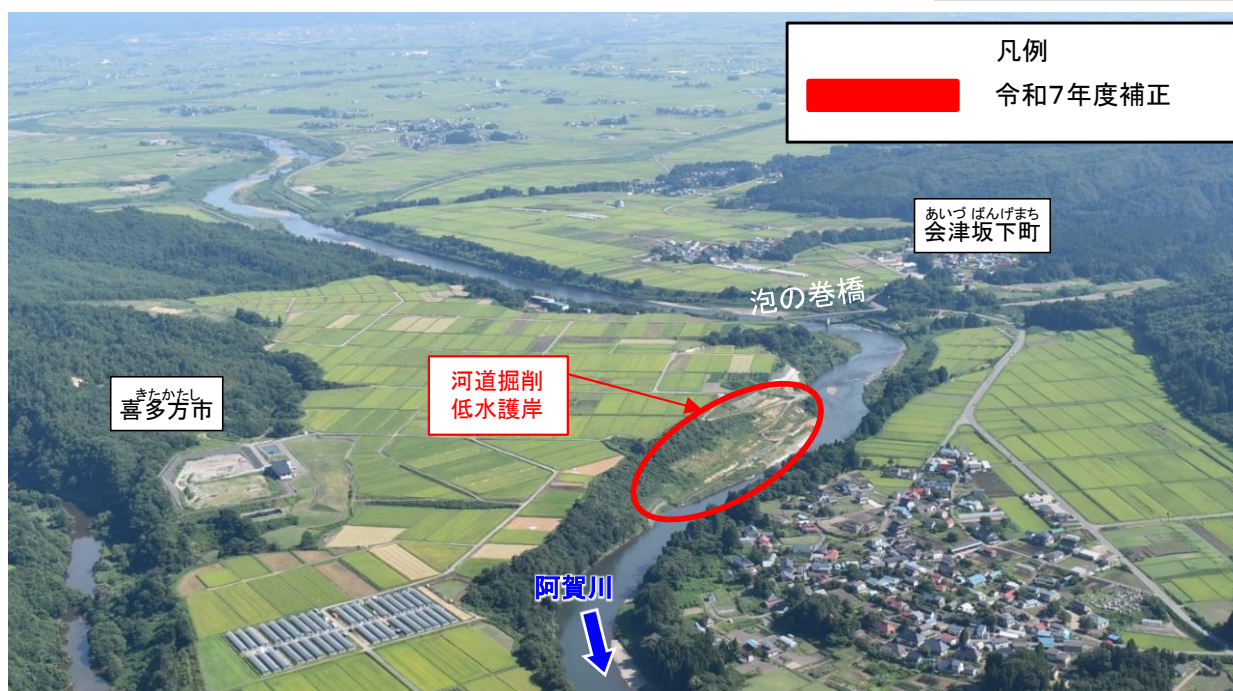
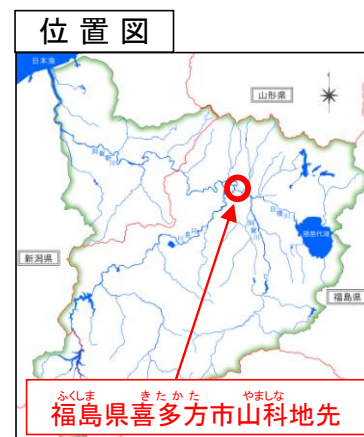
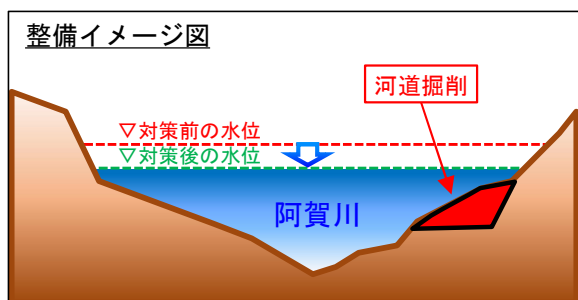
あ が が わ
阿賀川直轄管理区間の最下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時の水位上昇が著しく古くから
あいづ
会津盆地の水害の原因となっており、昭和57年9月、平成14年7月洪水時には内水はん濫及び漏水等
の被害が発生しました。そのため、あわのまき
泡の巻地区、つじり
津尻地区の狭窄部対策として河道掘削を計画的に
実施してきており、現在、ながい
長井地区の河道掘削を実施しています。
あ が の が わ
阿賀野川水系における流域治水の一環として、河道掘削等を推進します。

整備効果

河道掘削等の推進により、あ が が わ
阿賀川流域の治水安全度を向上させます。

令和7年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策
ながい
として長井地区の河道掘削等を推進します。



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

福島県耶麻郡西会津町

R7補正事業費
225百万円

事業の概要

滝坂地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに存在し、面積約150ha、深さ（高さ）約140mの地すべり土塊を有する国内最大級の地すべりであり、平成8年に直轄地すべり対策事業が開始されるまでは、年間約100cmを超える活発な地すべり活動が発生していました。

万が一、地すべり活動の活発化によって阿賀川本川に河道閉塞が形成されてしまうと、上流の西会津町や喜多方市では湛水による広域的な被害が発生し、また、下流の沿川一帯では河道閉塞の土塊が決壊し、一気に流下することで大規模な水害・土砂災害が発生する危険性があります。

滝坂地区直轄地すべり対策事業では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、国土強靱化実施中期計画により集水井や排水トンネル等の各種地すべり防止施設の整備を実施します。

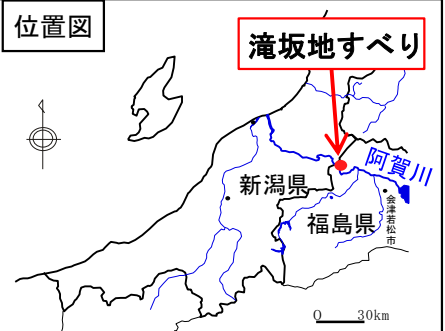
整備効果

地すべり防止施設の整備により、阿賀野川水系の土砂災害に対する治水安全度を向上させ、保全対象である福島県西会津町をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、豊洲地区において、地すべり防止施設の整備を推進します。

◆横ボーリング工 (施工イメージ)



◆S33年頃
ひきまき
引牧の住居軒下の開口亀裂

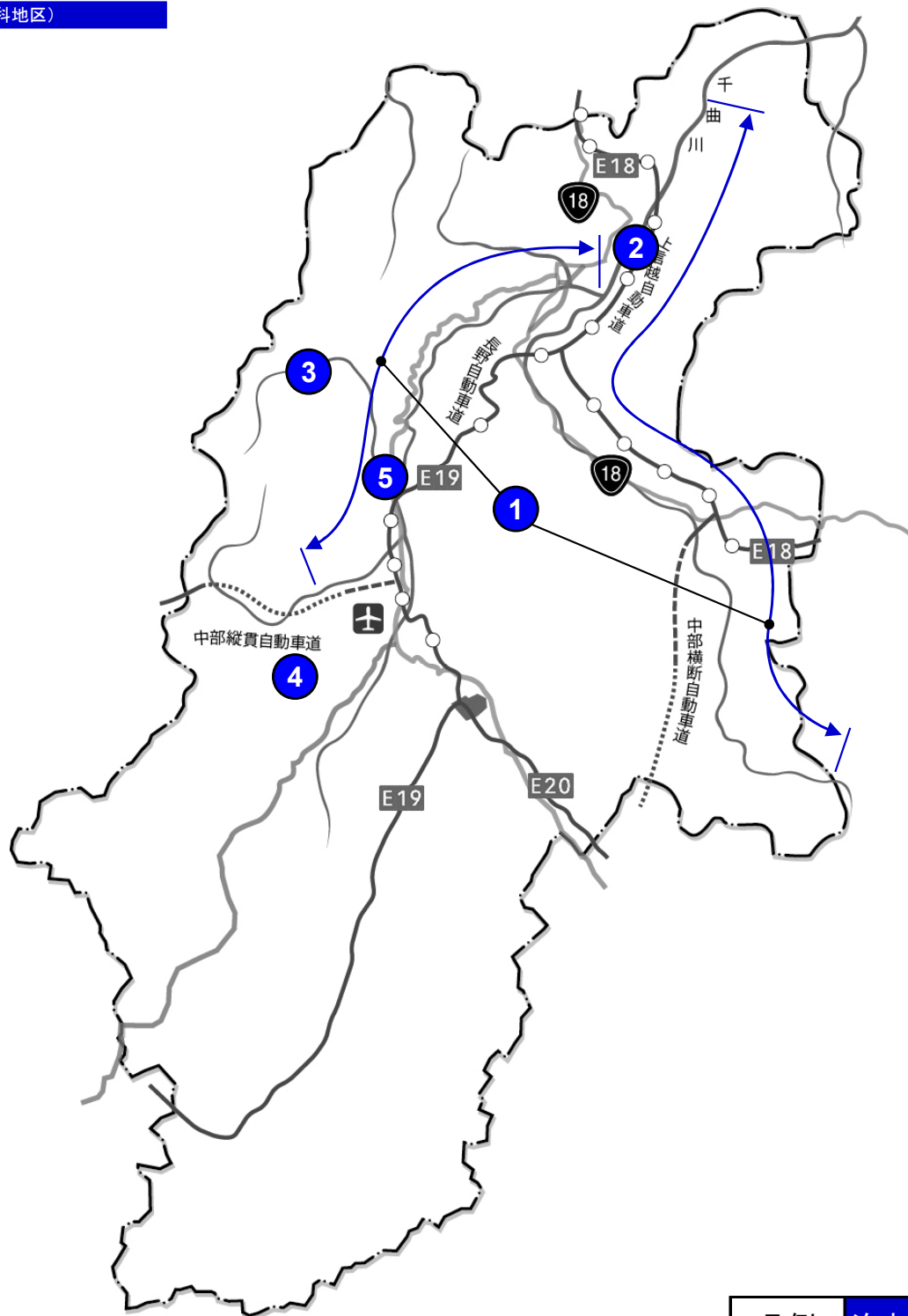


◆H6年頃
そでのさわ
袖ノ沢地区の地割れ

長野県内の主要事業

治水

1	直轄	信濃川水系 緊急治水対策プロジェクト(千曲川)
2	直轄	千曲川 長沼地区河川防災ステーション整備事業
3	直轄	大町ダム等再編事業
4	直轄	信濃川上流水系(砂防) 境川溪流保全工Ⅱ期
5	直轄	犀川 環境整備(明科地区)



凡例 治水事業

しなのがわ ちくまがわ
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)※1の推進
ながの ながの
長野県長野市 他 R7補正事業費
18,972百万円※2

※2:千曲川の河川等大規模災害関連事業費のR7補正全体事業費の合計

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を推進し、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和7年度補正の事業内容

補正予算の充当により、信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)の「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削、遊水地及び堤防強化を推進します。

～ みんなでつなぐしなのの川 ～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～



※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」

➤ 緊急治水対策プロジェクトの詳細は下記にてご覧いただけます。

http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinanogawakinkyutisuitaisaku/sinanogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

ちくまがわ ながめま
千曲川 長沼地区河川防災ステーション整備事業 の推進
ながの ながの
長野県長野市
R7補正事業費
808百万円※1

※1:千曲川河川改修事業のR7補正全体事業費

事業の概要

ちくまがわ
千曲川では、令和元年東日本台風に伴う洪水により家屋等の浸水被害が発生しました。
ながめま
長沼地区河川防災ステーションは、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄や、駐車場、ヘリポート等の整備を行うとともに、ながの
長野市が水防センターを設置するなど、災害時の活動拠点となる施設です。
しなのがわ
信濃川水系における流域治水の一環として、ちくまがわ ながめま
千曲川（長沼地区）において河川防災ステーション整備等を推進します。

整備効果

河川防災ステーション整備の推進により、迅速かつ円滑な復旧活動を行う体制の強化を図ります。

令和7年度補正予算の事業内容

ながめま
補正予算の充当により、長沼地区河川防災ステーション整備に伴う
基盤盛土等を推進します。

長沼地区河川防災ステーション:イメージ図



位置図



河川防災ステーション整備範囲(下流から上流をのぞむ)



基盤盛土状況①

河川防災ステーション整備範囲(上流から下流をのぞむ)



基盤盛土状況②

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

おおま
大町ダム等再編事業の推進
ながの おおま
長野県大町市

R7補正事業費
50百万円

事業の概要

千曲川は令和元年10月台風19号豪雨水害で甚大な被害が発生するなど、これまで幾度も甚大な洪水被害が発生しています。

このため、高瀬川の既設ダムである高瀬ダム・七倉ダムの発電容量の一部と、大町ダムの水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保し、下流の洪水流量をさらに減少させること、さらに流入土砂対策を行うことにより長期的にダムの機能を確保することを目的とした大町ダム等再編事業を、令和2年度より進めています。

近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対し、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、再編事業を実施します。

整備効果

洪水量を低減し、下流域の治水安全度を向上させます。

令和7年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、事業実施に必要なトンネル水文調査等を進めます。

位置図



高瀬ダム

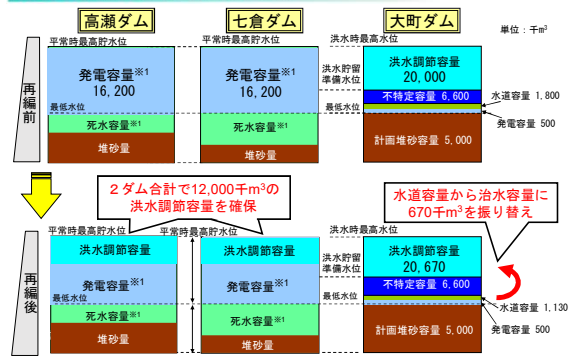


七倉ダム

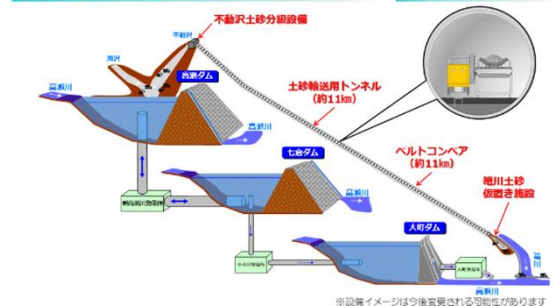


大町ダム

大町ダム等再編事業 容量再編イメージ図



大町ダム等再編事業 土砂対策イメージ図



トンネル水文調査状況

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

しなのがわじょうりゅう
信濃川上流直轄砂防事業の推進
ながの まつもと さかいがわ
長野県松本市（境川溪流保全工（Ⅱ期））

R7補正事業費
140百万円

事業の概要

奈川流域の大寄合川は、昭和58年の災害で氾濫実績があり、大寄合川上流の境川に位置する「そばの里奈川」は土砂とともに大量の流木が流下し埋没した。境川は川幅が狭く、洪水時には流水が河道の疎通能力を超える可能性があり、溪畔林が茂りすぎると流木化が懸念されるなど、防災面、環境面で課題がある。そのため、地元と協働で溪畔林の伐採を行う「里山砂防事業」の一環として、溪流保全工を施工するものである。

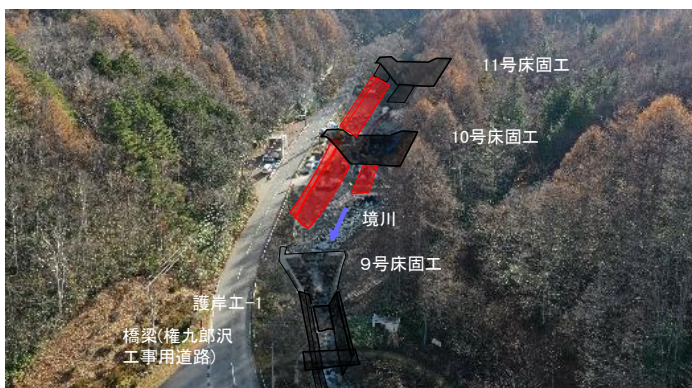
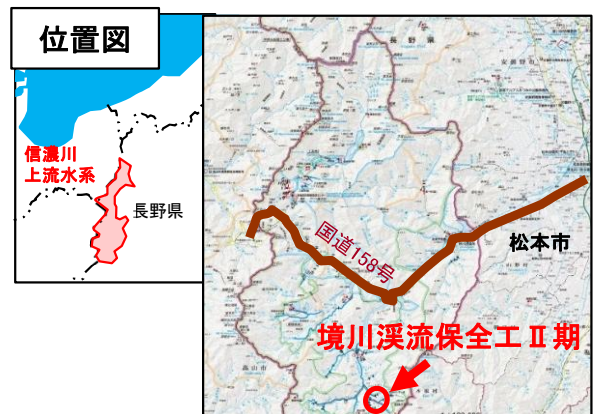
整備効果

砂防堰堤工の整備により、信濃川上流水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である松本市をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、奈川高原地区において砂防堰堤工の整備を推進します。

事業箇所の全景



◆昭和58年の災害状況



さいがわ 犀川 環境整備 水辺整備 の推進

ながの あづみの あかしな
長野県安曇野市（明科地区）

R7補正事業費
65百万円※

※信濃川総合水系環境整備事業のR7補正全体事業費

事業の概要

安曇野市東部に位置する明科地区では、各種ウォーターアクティビティが楽しめる犀川や北アルプスの雄大な眺望やトレッキング等が楽しめる長峰山等、エリアにアウトドア資源があるものの、市民がより集いやすくなり、水辺空間を中心に人々がまちを巡り、地域全体で新たな出会いや活動の創出が求められています。

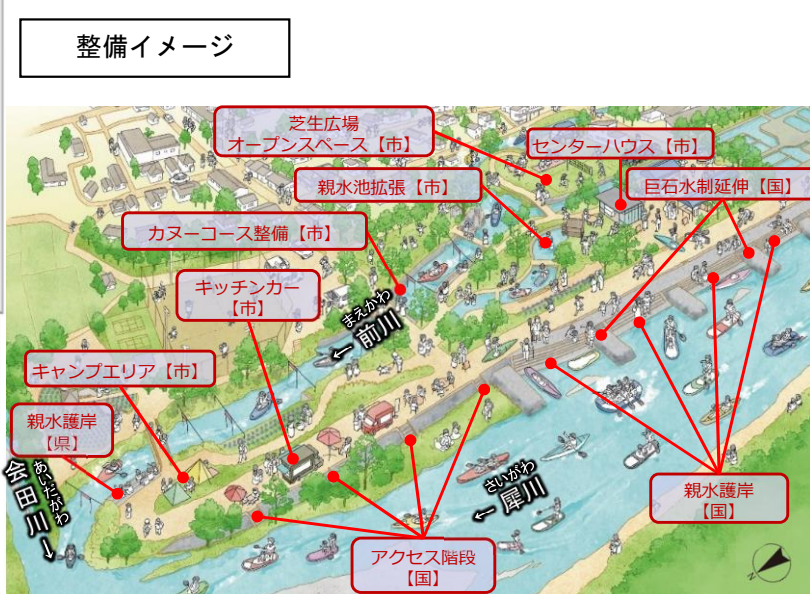
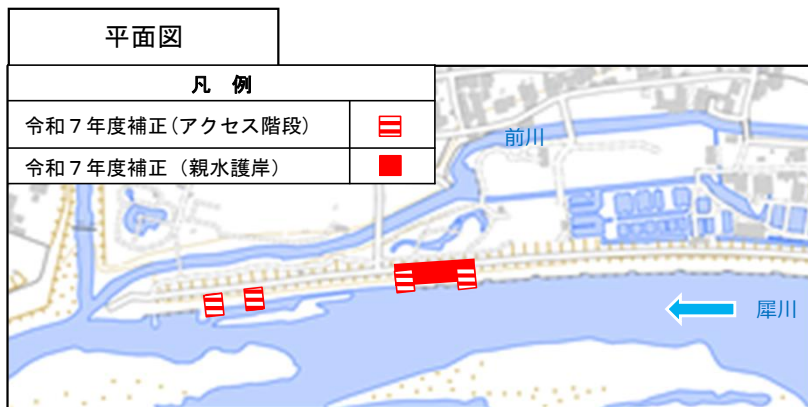
本事業は、「安曇野市犀川×前川かわまちづくり」計画が登録されたことを踏まえ、親水護岸、巨石水制延伸等の整備を行います。

整備効果

河岸の利便性と安全性を高める整備を行い、関係機関とも連携しながら水辺の賑わい創出、地域の活性化を目指します。

令和7年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、明科地区で、水辺整備（アクセス階段、親水護岸）を推進します。



岐阜県内の主要事業

治水

1

直轄

神通川水系(砂防)
右俣谷第4号上流砂防堰堤



凡例

治水事業

じんづうがわ
神通川水系直轄砂防事業の推進
ぎふ たかやま みぎまたに
岐阜県高山市（右俣谷第4号上流砂防堰堤）

R7補正事業費
85百万円

事業の概要

じんづうがわ たかはらがわ
神通川水系の高原川流域は、荒廃が著しく不安定な土砂が河床内に大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

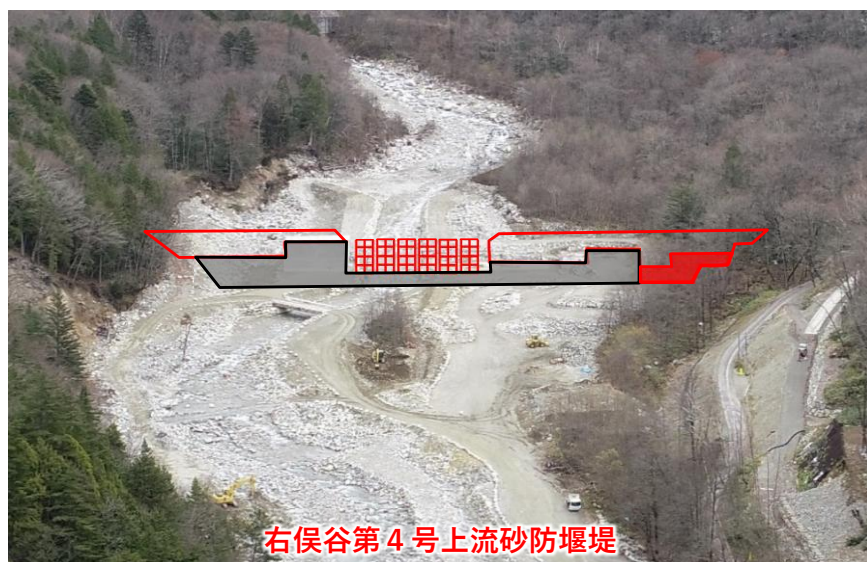
みぎまたに
右俣谷第4号上流砂防堰堤では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、国土強靱化実施中期計画により砂防堰堤の整備を実施します。

整備効果

じんづうがわ
砂防堰堤工の整備により、神通川水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象であるぎふ たかやま
岐阜県高山市をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度補正予算の事業内容

おくひだおんせんごうかんさか
補正予算の充当により、奥飛騨温泉郷神坂において、砂防堰堤工の整備を推進します。



右俣谷第4号上流砂防堰堤



凡 例	
	令和7年度当初以前
	令和7年度補正
	令和8年度以降



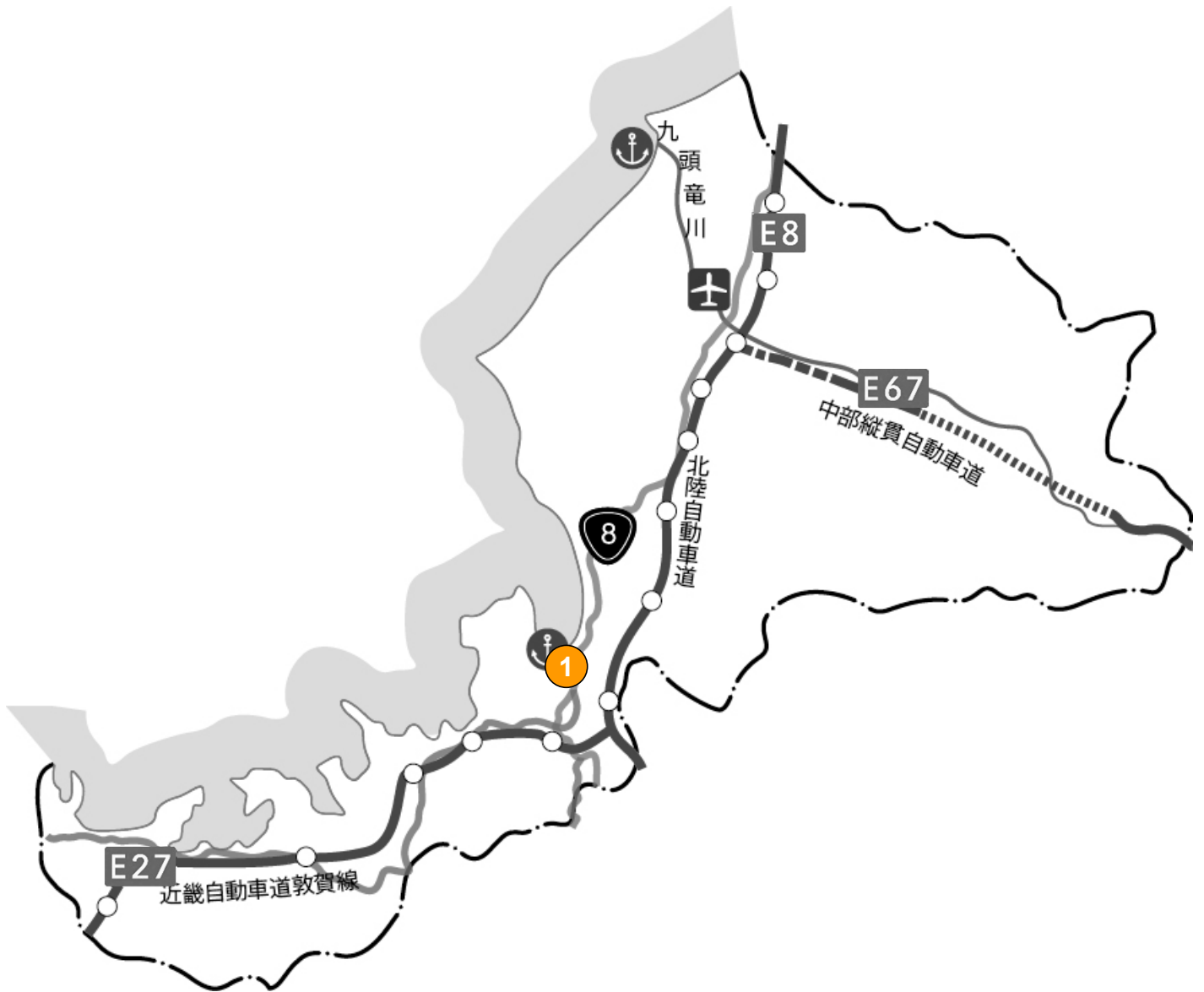
右俣谷第4号砂防堰堤下流水状況
左俣谷右俣谷合流点
平成25年6月19日



福井県内の主要事業

港湾

1 直轄 敦賀港鞠山南地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業



凡例 港湾事業

つるが まりやまみなみ
敦賀港 鞠山南地区
複合一貫輸送ターミナル整備事業の推進
ふくい つるが
福井県敦賀市

R7補正事業費
1,220百万円

事業の概要

敦賀港は、日本海側で唯一、北海道と九州を結ぶRORO船航路が就航し、関西・中京圏の物流を支えるとともに、外貿定期コンテナ航路が就航し、地域の経済活動を支えています。

船舶の大型化に対応するとともに岸壁の耐震化を図るため、複合一貫輸送ターミナルの整備を推進します。

整備効果

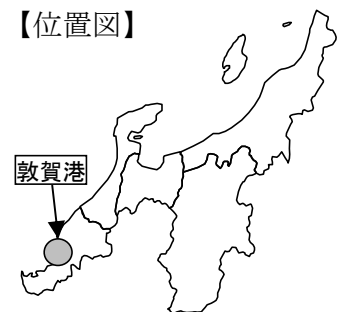
船舶の大型化への対応や貨物の集約を通じ、トラックドライバー不足等の課題解決に向けたモーダルシフトを促進します。

また、耐震強化岸壁として整備することにより、サプライチェーンの強靱化、災害対応力の強化を図ります。

令和7年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、岸壁の整備を推進します。

【位置図】



敦賀港

岸壁(水深9m)(耐震)

鞠山南地区



その他主要事業

河川管理施設の老朽化対策及び高度化の推進等

北陸地方整備局管内

事業の概要

老朽化した河川管理施設の修繕を実施するほか、水門の遠隔化や樋管の無動力化を実施します。

整備効果

河川管理施設の老朽化対策を実施することで必要な機能を回復・維持し、洪水時の安全性を確保します。また、施設の遠隔化・無動力化を推進することで維持管理の効率化・省力化・安全性向上等の高度化を行います。

令和7年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、河川管理施設の老朽化対策及び高度化を推進します。

○河川管理施設の老朽化対策

しなのがわ せきや ぶんすいろ

にいがたおおぜき

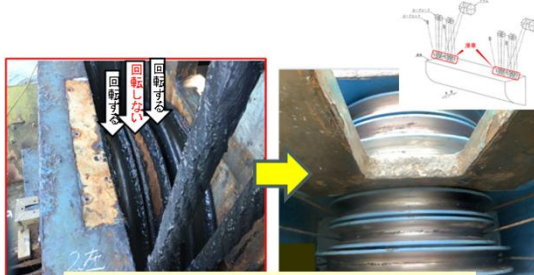
信濃川関屋分水路河口に位置する新潟大堰について、ゲート設備の修繕を推進し施設の機能維持と信頼性向上を図ります。



にいがたおおぜき
新潟大堰



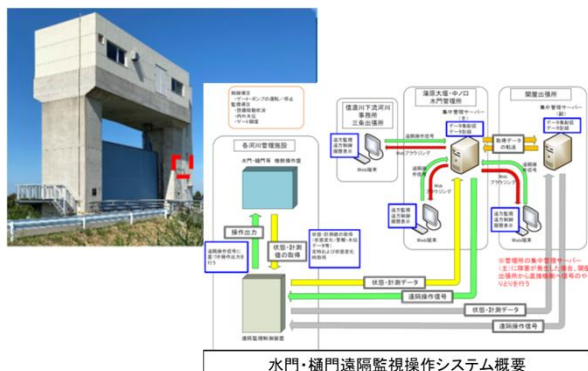
主ローラの分解整備(イメージ)



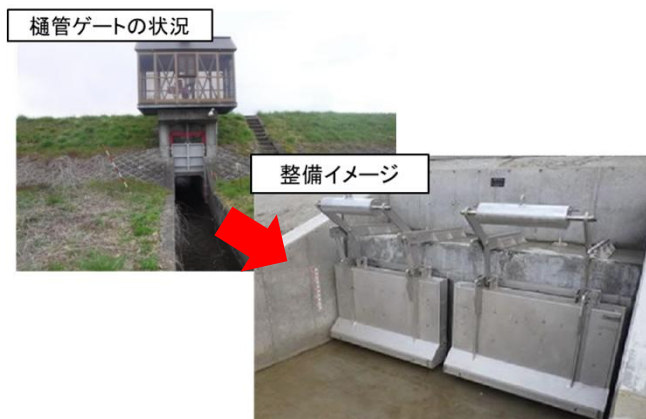
ワイヤロープシーブ(滑車)取替(イメージ)

○維持管理の高度化

水門の遠隔操作化を推進します。



樋管の無動力化を推進します。



樋管ゲートの状況

整備イメージ

河川情報等の充実

北陸地方整備局管内

事業の概要

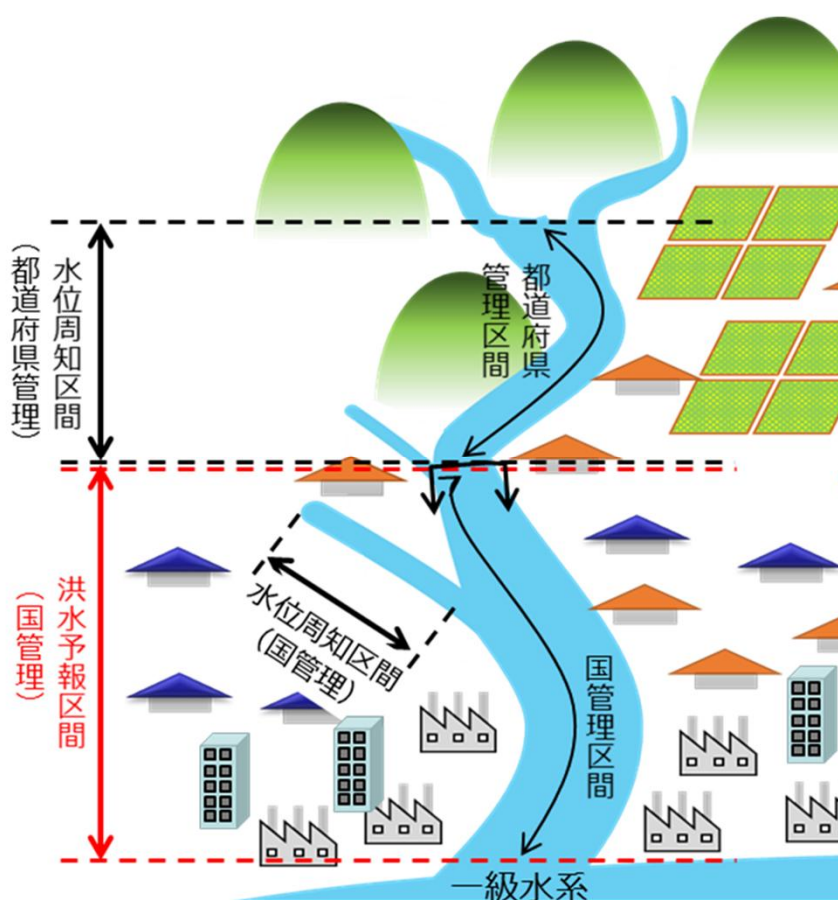
国土交通省では、災害の切迫感を分かりやすく伝える取組みの一つとして、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる河川の水位予測を令和元年より提供しております。近年は、令和元年東日本台風をはじめとした台風や活発な前線の影響を受け、河川の氾濫等により各地で甚大な被害が発生しており、より良い河川情報を提供して避難を支援するため、洪水予測の高度化を推進します。

整備効果

河川の予測水位の精度の向上等を推進することにより着実な防災対応や避難行動を支援します。

令和7年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、北陸地方整備局管内の一級水系河川において、雨量や水位などの観測所を最大限活用した洪水予測モデルを構築し、予測精度の向上に取り組めます。



雨量や水位などの観測所を最大限活用した洪水予測

防災・減災・国土強靱化の推進

北陸地方整備局

事業の概要

道路インフラ等の局所対策

橋梁や道路の流出、土砂災害等による道路の通行止めのリスク解消等のため、河川に隣接する道路構造物等の流失防止対策、法面・盛土対策、道路橋梁等の耐震機能強化、道路の雪寒対策等、市街地の道路地下構造物の浸水・冠水対策等を実施して参ります。

重要インフラに係る老朽化対策の推進

予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、道路の重要インフラについて、早期に対策が必要な施設の修繕等を集中的に実施して参ります。

令和7年度補正予算の事業内容

道路インフラ等の局所対策

< 法面・盛土対策 >



【対策イメージ】擁壁工

< 雪寒対策 >



【対策イメージ】防雪柵設置工

重要インフラに係る老朽化対策の推進

< 橋梁修繕 >



【対策イメージ】当て板補修工

< 舗装修繕 >



【対策イメージ】舗装（路盤）打ち換え

デジタル技術等の活用による インフラの整備・管理等の高度化・効率化

北陸地方整備局

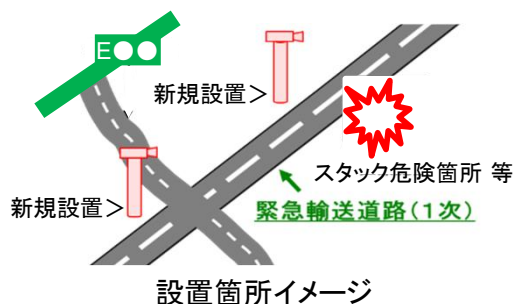
事業の概要

- 降雪による交通障害が予想される区間や、既存CCTVが近傍にない区間等にCCTVカメラを設置します。
- 除雪作業の自動化に向けて、自動制御用地図データや自動化に対応した除雪機械を整備します。
- 大雪時等における迅速な通行止めを図るため、予防的通行止め区間等に遠隔操作型の遮断機を整備します。

令和7年度補正予算の事業内容

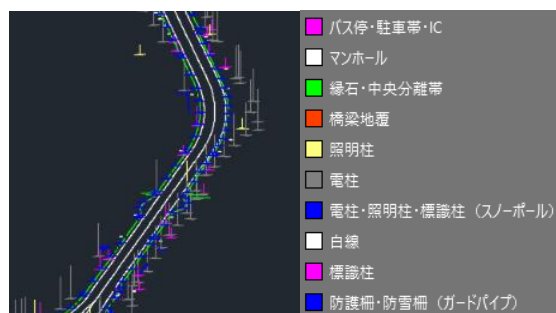
デジタル技術等の活用によるインフラの整備・管理等の高度化・効率化

< CCTVカメラの増設 >

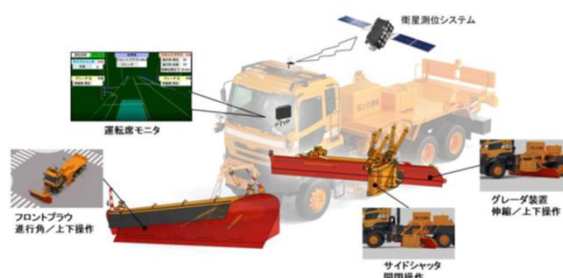


- 高速道路との並行路線や他の路線が接続する箇所など災害発生時に交通集中が予想される箇所に増設します。

< 除雪作業の自動化 >



3次元モデルを活用した自動制御用地図



- 除雪作業の自動化に向けて、自動制御用地図データや自動化に対応した除雪機械の整備を行います。

< エアー遮断機の整備 >



設置イメージ

- 大雪時等における迅速な通行止めを図るため、予防的通行止め区間等に遠隔操作型の遮断機を整備します。